

活動状況報告書（11月分）

スポーツコース 狩野 亮

私にとって最後の1ヶ月も、様々な活動を通じ多くの刺激を得られた非常に有意義な時間となりました。

月の初めには、オランダで最も大きい室内スキー場であるスノーワールド・ランドグラーフを訪れ、山のない国でどのようなスキー活動が行われているかを視察しました。当日は、チェアスキーの体験イベントが行われていたため、試乗用のチェアスキーで雪上にも上がることができました。室内スキー場のため、実践的なコースレイアウトではありませんでしたが、いつでも初心者の導入を行えることは、非常に有益な点であると感じました。選手にも話を伺いましたが、キャリアの序盤は春から秋にかけてこの環境でトレーニングを積み、実際の山に雪が付いた後は山へ向かうという形で強化を進めるそうです。私たちが日本で初心者の導入を行う際、12月のスキー場のオープンを待つしかないことを考えると、非常に羨ましい環境であると感じました。

次に大きな刺激をもたらしたのは、Wheelchair Skills Team の活動をオランダ全土へ広げていくために行われた、指導者の育成活動でした。車椅子技能を指導できる人員を増やすことで、彼らの意思や活動をオランダ全土に広げていき、これまで以上に社会に向けて大きな影響を及ぼすことができると感じました。日本でもいつか、このような好循環を生み出し、北海道から日本全国へ新しい常識を届けられることを思い描き、帰国後の活動に繋げて行きたいと感じました。



